



いぶき 第23号  
 発行者 井上 一  
 編集 患者サービス向上委員会  
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号  
 TEL (0877)23-3111  
 FAX (0877)24-1147  
 季刊誌 年4回発行  
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>

### 口の中にできる病気

歯科口腔外科 森谷 徳文

口の中にできる病気は様々で無数にありますが、一般的によく知られている口の中にできる病気といえは「虫歯」「歯周病(歯槽膿漏)」が2大巨頭でしょう。虫歯・歯周病の痛みはとも強く、この嫌な経験をされた方もおられることでしょう。

江戸時代・徳川将軍も「むし歯」で歯の痛みに悩まされていた? ようです。なかでも14代将軍の家茂は、甘いものが大好物で、なんと31本中30本の歯が虫歯になっていました(写真1)。これだけ虫歯があれば、歯周病にも悩まされていたことでしょう。12代将軍の家慶に

は虫歯がなかったようですよ。(写真2)。

フランス皇帝ナポレオンも歯の痛みで苦しんだようです。ナポレオンは壊血病(ビタミンCの不足によって起こる病気)による歯周病で苦しみ、抜歯をしました。その歯は2005年に競売に掛けられたそうです。165万円の値打ちがあるとか。

話がそれてしまいました。虫歯も歯周病も予防が大事な病気です。歯周病は正しい歯磨きをしていれば防げますが、虫歯は歯磨きだけでは防げないこともあり、予防と早期発見・早期治療が大事です。痛くなつてからでは手遅れの場合がほとんどです。

また最近では歯周病が全身の病気と密接に関わっているという報告があります。糖尿病、胃潰瘍、早産、誤嚥性肺炎、細菌性心内膜炎・などに関わっているというものです。ですから、最低でも半年に一回はかかりつけの歯医者さんで定期健診を受け、虫歯と歯周病の予防に努めることがとても大事なことです。

次に一般的にはあまり知られていない口の中にできる病気についてです。どんな病気があるのかを個々に挙げることは字数の関係上、今回は出来ませんが、それを担当しているのが当院の歯科口腔外科なのです。

たとえば、内科の中には、一般内科の他に循環器内科、呼吸器内科、血液内科・など専門性の点から様々に分かれていますが、歯科の中でも一般歯科の他に小児歯科、矯正歯科、口腔外科があります。大まかにいうと、一般歯科は虫歯・歯周病(2大巨頭ですね)とこれによって失われた歯の機能を補う治療をするところ。小児歯科は一般歯科の中で小児の治療を担当しているところ。矯正歯科は歯並びを治すところ。口腔外科はこれら以外の口の中の病気を担当しており、当院の歯科口腔外科がそうなのです。なぜ歯科の中でも科が分けられているのかと言えは、やはり個々に専門性が高く、高度な専門的知識と技術が必要だからです。

では、みなさんが口の中の病気にいつて心配になったらどうすればいいか? まずはかかりつけの歯科医院(町の歯医者さんのことです)を受診すること。が、一番です。そこで診断してもらい、必要なら小児歯科、矯正歯科あるいは口腔外科を受診

### 香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に  
 安全で安心のより良い  
 医療と看護を提供します

餅屋で、と言う様に個々の病気に合ったところで治療をすることが、みなさんの病気を解決していく上でとても大事なことです。

かかりつけの歯医者さんをお持ちでない方は、是非この機会にかかりつけの歯医者さんをつくることを、強くお勧めします。口の中以外では、定期的に健診に行っておられる方は多いと思います。是非口の中の定期健診も取り入れて、かかりつけの歯医者さんを受診してみましよう!!

写真1: 家茂の上下顎骨  
 写真2: 家慶の上下顎骨  
 (写真1・2: 「骨は語る徳川将軍・大名家の人びと」 鈴木尚 著からの引用)

### 放射線科の最近の動向

放射線科技師長 大北 和夫

放射線科で最新の64列MDCT1台と、1・5T MRI 2台を導入して1年が経ち、現在順調に稼動しております。高能装置に付き物の初期トラブルも余り無く、我々機器を管理する者としてやっと一安心という状況になっております。

そしてこの3台の装置の導入により、検査のスピードアップが図られ、検査待ち日数が大幅に短縮しております。

特にMRI検査におきましては、一昨年の旧MRI装置の時は予約をして頂き検査実施まで3〜4週間かかっており、患者



金刀比羅宮(ことひらぐう)は香川県仲多度郡琴平町の象頭山の中腹に鎮座する神社で、通称“こんぴらさん”と呼ばれており、海の守り神として信仰されています。また、奥社まで登ると1,368段にもなる参道の石段が有名です。

の皆様には多大のご迷惑をおかけしていましたが、この最新の2台の装置を導入することにより、概ね1週間以内にならざる検査が出来ようになります。検査部位によっては当日検査も可能な状況になっております。

また、CT、MRI、共々画像処理技術が非常に進歩しており、相当細かい病変まで描出出来ますので診断能力のアップに繋がっております。

そして従来の装置では画像があまり良くなく、カテーテル検査に頼らざるを得なかった血管の検査も、最近の装置では非常

にクリアな画像が得られるようになり、カテーテル検査からCT、MRIを使った検査(CTA、MRAといえます)に移行し始めており患者様には大変楽に受けて頂ける検査になっております。

CT、MRIと同時に増設しました乳房撮影装置(マンモグラフィ)も順調に稼動しており、2台で撮影することにより撮影待ち時間が大分短縮され、昨年は3,200余りの方がマンモグラフィ検査を受けられております。

話は変わりますが、現在当院ではモニター診断の準備を進めております。どの様な事かと申しますと、現在は、各検査の画像はフィルムにプリントアウトして検査結果としてお渡ししておりますが、フィルムにはプリントアウトせず直接各診療科

### 地域医療連携

医事課(地域医療連携室)

「地域医療連携」耳慣れない方もいるかもしれませんが、実は患者さまにとって大変便利な事なのです。患者さまが普段診療しているかかりつけの先生方が「もう少し詳しい検査をしたい。」「専門の医師の意見を聞きたい。」と考えられた時に、当院は「地域医療連携室」を窓口として、医療の橋渡しを行っております。

このモニターへ画像配信する方法です。今までフィルムが出来上がるまで待つて頂いておりましたが、この必要が無くなります。医師はフィルムが手元に届くまで診断が出来なかったのが、院内のどのモニターからでも画像を見ることが出来ます。4月から可能な検査画像よりモニター診断を行う予定にしております。

このように、「地域医療連携室」では、患者さまの受付等の事務手続きをサポートしております。また、当院では、患者さま、ご家族のみなさまが安心して治療が続けられるように、「シームレスケア」(切れ目の無い医療)を目指しております。診療費の事や転院、在宅での生活などの様々な悩みについても、専任のMS・W(メデイカルソーシャルワーカー)が相談にのる体制を整えています。地域の医療機関や施設との連携を深めるために、施設訪問や各種研究会、研究会なども開催しております。

**マグネシウム**

循環器系と骨の健康を守る

栄養管理室長  
平田 邦江

マグネシウムは成人の体内に約30gあり(約60%は骨にある)、約300種類もの酵素の働きを助けています。また、カルシウム以上に不足しがちなミネラルです。通常は欠乏症が出ることはありませんが、慢性的に不足すると心臓疾患を招きやすくなり、ひどくなると、神経過敏症などの神経症状、抑うつ症や、不整脈などの循環器障害が見られることもあります。大事なことは、カルシウムとのバランスで、マグネシウム1(240)320mg/日(に対してカルシウム2)3(600)700mg/日)がよいとされています。カルシウムを意識して多くとる人はマグネシウムの摂取も心がけましょう。カルシウムの過剰摂取はマグネシウムの吸収を阻害します。

マグネシウムは通常の食材からとる範囲(サプリメントなど食品以外からの上限量は350mg)では過剰にとっても尿や汗などで体外へ排泄されます

が、取りすぎると下痢が起こることがあります(下剤として使用)。また、腎臓に障害のある人は注意が必要です。

**体内での働きは、**カルシウムと拮抗して、骨の形成、血圧の調整、筋肉の収縮などで、心臓が規則正しく拍動するのもカルシウムとマグネシウムの拮抗関係によって心臓の筋肉がスムーズに収縮するからです。その他糖質をエネルギーに変えるのを助けたり、たんぱく質の合成を助けたり、酵素反応を介して種の整理機能を支えています。

**病棟紹介**

東6病棟は最上階の東側に位置し、大変見晴らしの良い病棟です。

**東6病棟 大林美代子**

当病棟は内科病棟で呼吸器・消化器(胆・肝・膵)

腎・内分泌疾患などの患者様が入院されています。主に呼吸器疾患の患者様が多く、肺癌で化学療法・放射線治療を受けられる患者様に私達は副作用や合併症の出現が最小限で安楽に治療できるように看護を行っています。

また、慢性呼吸不全の患者様のQOLを考えて在宅



マグネシウム不足を招きやすい人は、ストレスが多い(ストレスはマグネシウムの必要量を増加させる)、肉や加工食品、清涼飲料水、牛乳(リン、カルシウムが多くマグネシウムとのバランスに注意)を多く取る人(リンを多く取ると吸収が妨げられる)大量のアルコール、利尿剤の利用者、足がつる人、糖尿病患者者等です。

また、動脈硬化、心臓疾患、腎臓結石、骨粗鬆症を予防したい人も不足しないようにカルシウムとバランスよく摂取するよ

うに心がけましょう。

**マグネシウムが多い食品**

地球上で6番目に多い元素で、広範囲に存在しますが、魚介などの海産物(干しエビ、丸干しいわし、ひじき)、濃い葉物野菜に比較的多く含まれます。他にはにがり(一時期はやつた、「にがりダイエット」の効果は否定されています。)を用いた加工食品(豆腐等ですが、にがりの代わりに硫酸カルシウム使用が増えている)種実類、穀物(そば、玄米ごはん、胚芽精米ごはん)大豆等です。

で療養できるよう、在宅酸素療法の導入における器械の取り扱いから、日常生活での注意点や合併症の予防方法を個別指導しています。

ターミナル時期を迎える患者様も多く、患者様・ご家族にどのような言葉を伝えたいのか暗中模索しながら、医師を交えてのカンファレンス、緩和ケアチームとの連携で、疼痛コントロールや患者様の「その人らしさ」を支える看護が「ができるよう努めています。また、忙しい中でも【聴く・話す】時間を大切にしています。スタッフ一同の持ち前の明るさとチームワークで患者様・ご家族に信頼される医療・看護が提供できるように日々取り組んでいます。

**お知らせ**

●公開健康講座  
日時 3月22日(木)  
13時30分~15時

場所 香川労災病院管理棟会議室  
内容 関節の痛み  
講師 院長 井上一  
参加料 無料

●「看護の日」記念行事

日時 5月10日(木)  
9時~15時  
場所 香川労災病院2階外来ロビー  
内容 ①健康相談(病  
気・治療、看護、薬、検査、食事等に関する相談  
に加え、骨密度、  
体脂肪率、血圧  
測定、身長体重  
測定、尿検査等  
の測定も可能)

参加料 無料  
③介護用品の展示

### 外 来 診 療 予 定 表

診 療 科	時 間 ・ 診 察 室	月	火	水	木	金	
内 科	午 前	一 診	多田	永田	多田	荒木	滝本
		二 診	荒木	水尾	三好	藤井	永田
		三 診	寺西	三好	吉永	寺西	吉永
		四 診	山本	井上	滝本	山本	井上
		五 診	佐藤	吉田	石原	佐藤	石原
循 環 器 科	午 前	一 診	松浦	渡邊	佐伯	水尾	水尾
		二 診	佐伯		松浦	渡邊	
	午 後		ペースメーカー(第2,第4)			振動	
外 科	午 前	一 診	鶴野	津村	鶴野	村岡	津村
		二 診	村岡	立本	國土	水村	小林
	午 後		呼吸器 津村		※乳腺 鶴野・村岡		
整 形 外 科	午 前	一 診	森谷	善家	横山	前原	井上
		二 診	前原	高田	井上	森谷	横山
		三 診	高田		生熊		善家
	午 後	リウマチ外来		リウマチ外来		小児外来	
リハビリテーション科	午 前	生熊	田村	高田	生熊	高田	
形 成 外 科	午 前	田中	田中	田中	田中(午後)	田中	
脳 神 経 外 科	午 前	一 診	藤本	吉野	合田	藤本	吉野
		二 診	柚木	合田		平下	
メンタルヘルス科	午 前	一 診	小山	小山	小山	井上	小山
		二 診	井上		井上		井上
泌 尿 器 科	午 前	一 診	西	西		西	西
		二 診	水野	倉繁	水野	倉繁	水野
産 婦 人 科	午 前	一 診	川田	大倉	川田	木下	大倉
		癌 検 診	木下	木下	大倉	川田	木下
	午 後	産科予約検診	大倉		木下		川田
		産後検診				交代制	
眼 科	午 前	一 診	小見山	小見山	小見山	小見山	小見山
		二 診		國土	國土	國土	
耳 鼻 咽 喉 科	午 前	一 診	森下	丸中	森下	丸中	森下
		二 診	丸中	平田	平田	(平田)	平田
	午 後			小児外来、腫瘍外来			
齒 科 口 腔 外 科	午 前	一 診	森谷	森谷	森谷	森谷	森谷
		二 診			松村		
麻酔科(ペインクリニック)	午 前	一 診	北浦	戸田	北浦	鈴木	北浦
		二 診	前田				小路
ス ト マ 外 来	午 前		佐藤看護師		佐藤看護師		

※乳 腺 外 来 鶴野(第1・3・5木曜日)・村岡(第2・4木曜日)

### 健 診 部

日帰りドック…………… 1日20名 火、金曜日	海外派遣労働者の健康診断…………… 随時
一般健診…………… 1日20名 月、水、木曜日	特殊健康診断…………… 随時
脳ドック…………… 1日1名 月、火、木曜日	振動障害健康診断…………… 1～3名 金曜日
雇入時の健康診断 ) …… 1日30名 (隔週) 水曜日	健診車による出張健診…………… 月～金曜日
定期健康診断	丸亀市住民検診…………… 月～金曜日

※全ての健診は予約が必要です。 ※健診の曜日は変更になることがあります。

- 当院は、政府管掌健康保険生活習慣病予防健診事業の指定病院となっており、該当する方は補助を受ける事が出来ます。
- 健診の結果、二次検査が必要となった場合、内科系・乳腺外来のみ当院で予約を行っております。

# 「花粉症」はセルフケアが大切です

薬剤師 佐藤 竜馬

今年もスギ花粉の飛び始める時期になりました。花粉症とは、スギやヒノキ、ブタクサなど植物の花粉が原因となり、くしゃみ・鼻水・目の痒み等のアレルギー症状を引き起こす病気です。程度に差はあるものの日本人の約二割が花粉症である言われています。

でも花粉が多く飛散する時間帯（地域により差はありますが、午後一時から三時頃）の外出を控える等のセルフケアが大切です。また、毎年強い症状が起こる方は、花粉が飛び始める少し前から、抗ヒスタミン薬やアレルギー薬を使用することで症状を和らげることが出来ます。

原因物質で特に有名なものが「スギ花粉」です。花粉が飛散し始めると体の中では、次のような反応が起こります。①花粉が鼻や喉から進入する。②リンパ球が花粉を侵入者（異物）と認識する。③リンパ球がIgE抗体を作る。④IgE抗体が肥満細胞に結合する。⑤再び花粉が入ると、肥満細胞からヒスタミン等の化学物質が分泌される。という一連の反応が起き、くしゃみ・鼻水・目の痒み等不快な症状が起きます。これは異物を排除しようとする生体の防御反応なのですが、これが過剰に起こることで様々な症状を起こすため「花粉症」と呼ばれています。

最近是一日一回で効果が持続する薬や、副作用で眠気が起こるのを軽減させた薬も開発されています。症状によって一種類、二種類、また内服薬と点鼻薬等を併用することもあります。これらの薬物治療は、症状が強くなる前（場合によっては、症状の出る前）から使い始める方が効果が高いと言われています。多くは、医師の処方が必要です。多くは、毎年症状の強い方は早めに医師に相談されることをおすすめします。

また普段から服用されている薬と飲み合わせの悪い薬がある場合もありますので、薬剤師にご相談ください。

症状のある方は、テレビや新聞で花粉の飛散予報を参考にセルフケアを心掛けることが大切です。

予防策として、まず花粉を体内に入れないこと。マスクや眼鏡、帽子を着用する。一日の中

みなさま、こんにちは。西6病棟は医師5名、看護師27名、看護助手1名、ヘルパー2名で若いスタッフが多く、パワーと笑顔あふれる脳神経外科病棟です。

## 病棟紹介

西6病棟 岡田 里美



当病棟は、脳梗塞や脳内出血、クモ膜下出血等の脳血管障害や、腫瘍、頭部外傷で入院される患者様がほとんどです。この多くは突然の発症ですが、再発のため入院を繰り返される患者様もいます。急性期にはわずかな症状の変化にも注意を払い「目が開いた」「返事をした、手を握り返した」等に一喜一憂しながら回復していく喜びを感じています。また、手術を受ける不安や病气、治療に対する不安を軽くするため、患者様用

クリティカルバスを用いて説明を行っています。慢性期には日常生活の自立に向けた援助が大半を占めるようになります。患者様の安全・安楽を確保するため奔走しています。そして、医療ソーシャルワーカーやコメディカルとの連携をしっかりと、患者様一人ひとりにあった医療が継続して行えるように地域と連携をとりながら日々頑張っています。

## 新人医師紹介

内科医師 石原 慎一



こんにちは。平成18年7月より当院に赴任してまいりました石原慎一と申します。

私は香川県善通寺市生まれで、大学卒業後は岡山市内の川崎病院にて研修後、大阪の市立吹田市民病院にて消化器内科医として勤務し、昨年より地元香

川に帰って参りました。現在消化器内科疾患を中心に診療に携わっております。

とりえは元気な事くらいで、『いつも明るくにこやかに』をモットーに頑張っているつもりですが、時々元気がない時もあります。消化器臨床医としてまだまだ未熟ではありますが、皆様のお役に立てるよう、これからも日々精進してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

循環器科副部長 松浦 靖



この度は当地で勤務出来幸いと存じます。高松で初期研修を開始し、その後京都、堺で循環器医療、心臓カテーテル検査（心カテ）等に従事して参りました。

今迄は民間の高効率な病院での勤務でしたので、公的病院は初めてで戸惑うことも有りますが諸雑務から鋭意努力致しております。

当科は慢性疾患は勿論、急性心筋梗塞等循環器救急疾患に

24時間対応しており、PCI(冠動脈風船・ステント治療)、ペースメーカー治療数についても、中西讀で最も多い施設の一つとなっています。

今循環器科として生き残る為には、外来初診時に心エコー等全ての検査を終了出来る、心カテに精通したスタッフを配備、末梢血管に対する血管内治療にもより積極的に取り組む、心カテ装置/画像サービシステムを最新の物に更新すること、が最低限必要と思考しております。かかりつけ医の先生方とも良好な病診連携を築きながら、地域医療に貢献致したいと存じます。宜しくお願致します。

● **外科医師 松原 正樹**

はじめまして、平成18年4月から香川労災病院の外科に勤務させて頂いている松原正樹と言います。



平成14年に卒業、医師免許所得後は外科、内科、小児科、救急など様々な診療科を研修し、この度、外科の専門的な研修のため、こちらにお世話になることになりました。

出身は岡山市です。もう既に1年弱こちらで勤務させて頂いておりますので、大分、病院や丸亀の環境にも慣れ、日々厳しい中にも楽しく働かせてもらっております。

私は現在、定期外来をやっておりますので、主に入院した患者様を中心に診療をさせて頂いております。まだまだ経験不足ですが、周囲にサポートして頂きながら、よりよい医療を皆様に提供できるように頑張っております。

きたいと思えます。  
身長190cm、体重?kgの巨体ですので、よく目立つと思います。見た目はちょっと取っ付き難いかと思いますが、気軽に声をかけて下さい。宜しくお願いします。



● **外科医師 二宮 卓之**

はじめまして、平成18年7月からお世話になっております外科の二宮と申します。

平成16年岡山大学医学部卒業で、卒後は東京都立駒込病院で研修をし、大学病院では肝胆脾グループに所属しておりました。当院に赴任して感じる素晴らしい点は、他科コンサルトの気軽さとCTをすぐに撮って頂けることです。

駒込病院では非常に各科の敷居が高く、証拠をすべて揃えてからでないとコンサルトにに応じてくれませんでした。緊急CTもなかなか撮ってもらえず、比較的求めに応じてくれるドクターの担当時間をお願いするか、腹膜炎と思わせるような所

見を揃えて直接CT室に頭を下げに行かないと応じてもらえませんでしたので虫垂炎のCT一つ撮って頂くにも非常に神経をつかいました。  
しかし、当院ではこのようなストレスは一切なく、違いに驚いております。各科の先生方にはこれからお世話になることが多いと思いますが、よろしくお願ひ申し上げます。



● **泌尿器科医師 森山 貴弘**

平成18年6月より当院泌尿器科でお世話になっております、森山貴弘と申します。

平成16年に産業医科大学を卒業し、現在、医師3年目です。出身は、生まれが熊本で育ちが福岡なので、24年間九州を離れたことがありませんでしたが、大学卒業後の臨床研修医時代の2年間は青森で仕事をしておりました。

この度、縁があつて香川に派遣されて参りました。四国には大学の部活の大会で愛媛に来た程度で、香川には来たことも住

むことも初めてでしたが、食べ物もおいしく、住みやすいところだと思えます。気が良い人が多いのも、香川の特徴でしょうか。  
医師としてはまだまだ未熟で、患者さん、コメディカルの方々、他科の先生方、そして特に泌尿器科の西先生、水野先生、倉繁先生にご迷惑をかけているかと存じますが、どうか今後ともよろしくお願ひいたします。

**編集だより**  
**患者サービス向上委員会**  
**横山 良樹**

昨年は11月下旬から感染性胃腸炎(ノロウイルス)が全国的に蔓延し、当院でもその洗礼にあい病棟閉鎖までに至り、一時はどうなるかと危惧しましたが、スタッフの努力にてあまり大きな問題もなく終息しました。

この冬は、記録的な暖冬で、幸いにもまだ今のところインフルエンザも流行しておりませんが、これからの異常気象が気になる所です。皆様のおかげで「いぶき」23号が完成しましたが今後とも積極的な投稿お願ひいたします。



● **労災病院周辺で見られる鳥**  
**ミサゴ**

**主任薬剤師・吉村正則**

近年、魚食性の鳥の増加が著しい。サギ、カワウ、ミサゴ。ミサゴは魚を専門に捕るタカの仲間。遠くからでも翼が長く白っぽく見えるのですぐ解る。上空で狙いを定めて、急降下して水中に飛び込み鋭い爪で魚を捕まえる。